

地域創生 × SDGsセミナー

地域の取り組みが世界を変える

「民の取組事例」

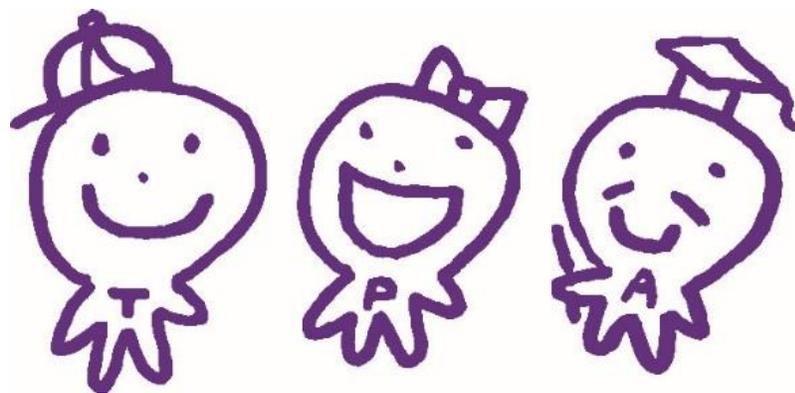


認定NPO法人地球市民の会

副理事長 大野博之



認定NPO法人 地球市民の会



地球市民の会

世界各国・日本・地域において、
他の人の幸せを自分の幸せとして感じられる人、
「地球市民」が
今を幸せと感じながら生活し続けられる社会を創る



私たちは、ミッション実現のため
SDGsを推進します

**No one will
Be left behind**

誰ひとり取り残さない

特定非営利活動法人 地球市民の会

〈役員〉 名誉会長:山口佐賀県知事、
名誉副会長:秀島佐賀市長
会長:佐藤昭二 理事長:山口久臣
設立時は香月義人佐賀銀行会長(当時)
井本勇佐賀県副知事(当時)
末次一郎先生(青年海外協力隊の創設者)
の多大なご尽力をいただきました。

〈会員数〉 481名

〈職員〉 日本人常勤職員 7名(国内4名、海外3名)

日本人非常勤職員 2名

ミャンマー人職員 21名

〈予算規模〉 2億2千万円(平成30年度)

地球市民の会は
4つの国で
教育支援の
プログラムを
実施しています

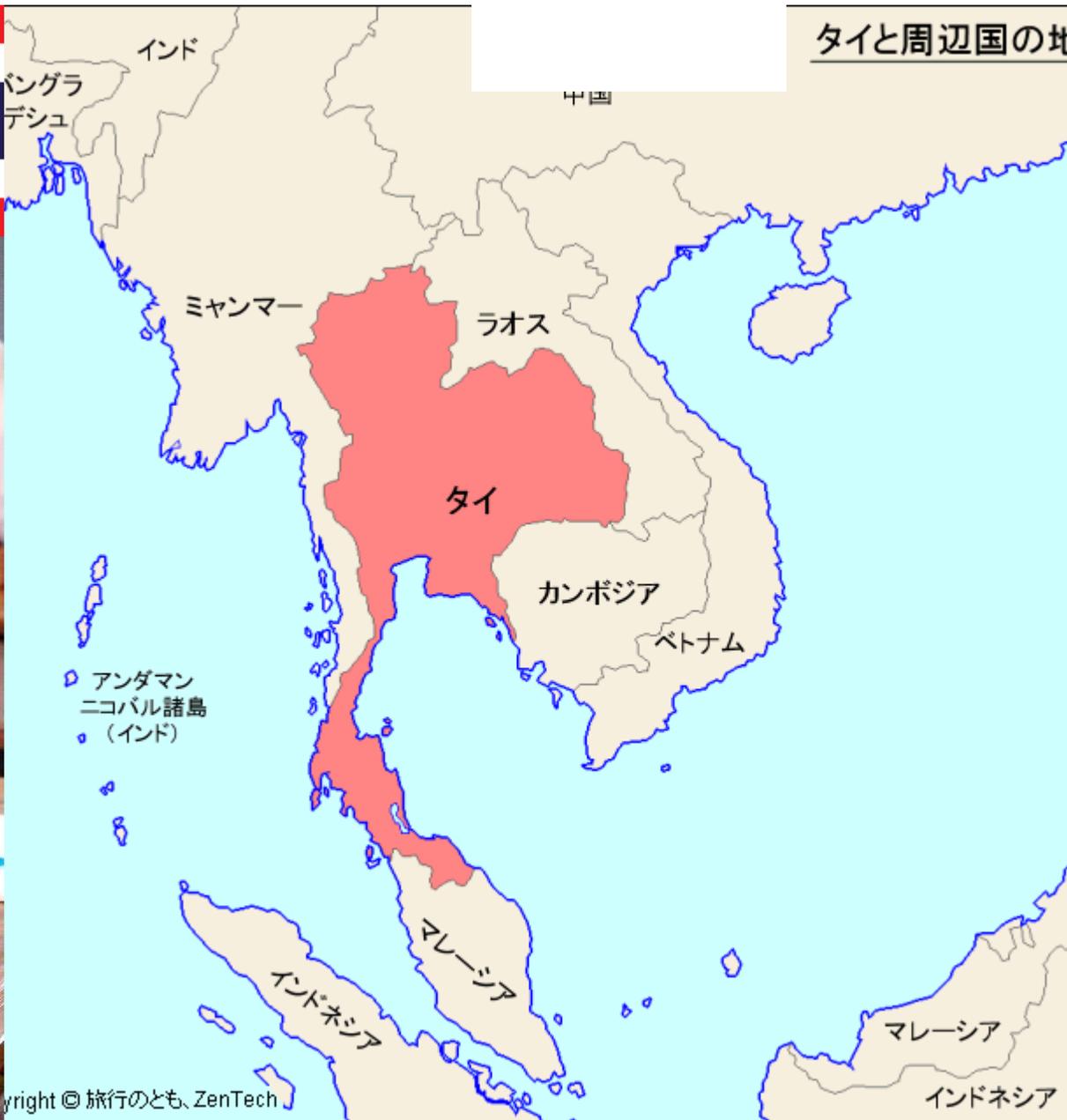
4 質の高い教育を
みんなに



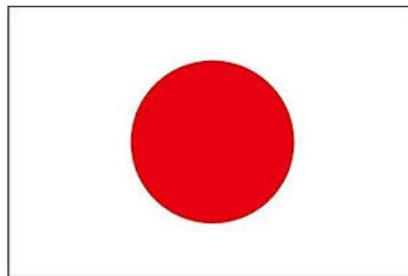
ミャンマー



タイ



日本



4

質の高い教育を
みんなに



目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

ターゲット 4.1 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする

指標 ミャンマーの貧困エリアで毎年1校以上の保育園、小学校、中学校を建設する

レーカウン中学校調査



4 質の高い教育を
みんなに



目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

ターゲット4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

指標 ミャンマー・シャン州並びにチン州で提供する循環型自然農業研修をミャンマー農民が毎年300名以上受講し、自らの農地で学んだ農法を60名以上が実施する。



その関連性で



5 ジェンダー平等を
実現しよう



女子高等教育支援事業



6 安全な水とトイレ を世界中に



給水事業



9 産業と技術革新の 基盤をつくらう



ソーシャルビジネス殖産



現在特に力を入れているのは



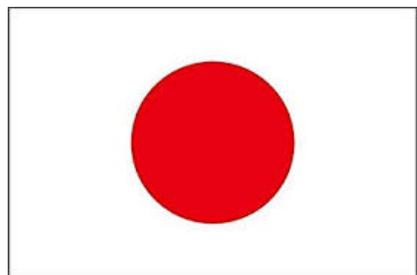
目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

ターゲット17.16 全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。



指標 ① タイの貧困の連鎖にある女性を佐賀の介護事業所に住み込みで学校に通わせ、資格取得を支援するプログラムに毎年3名の参加を実現する。

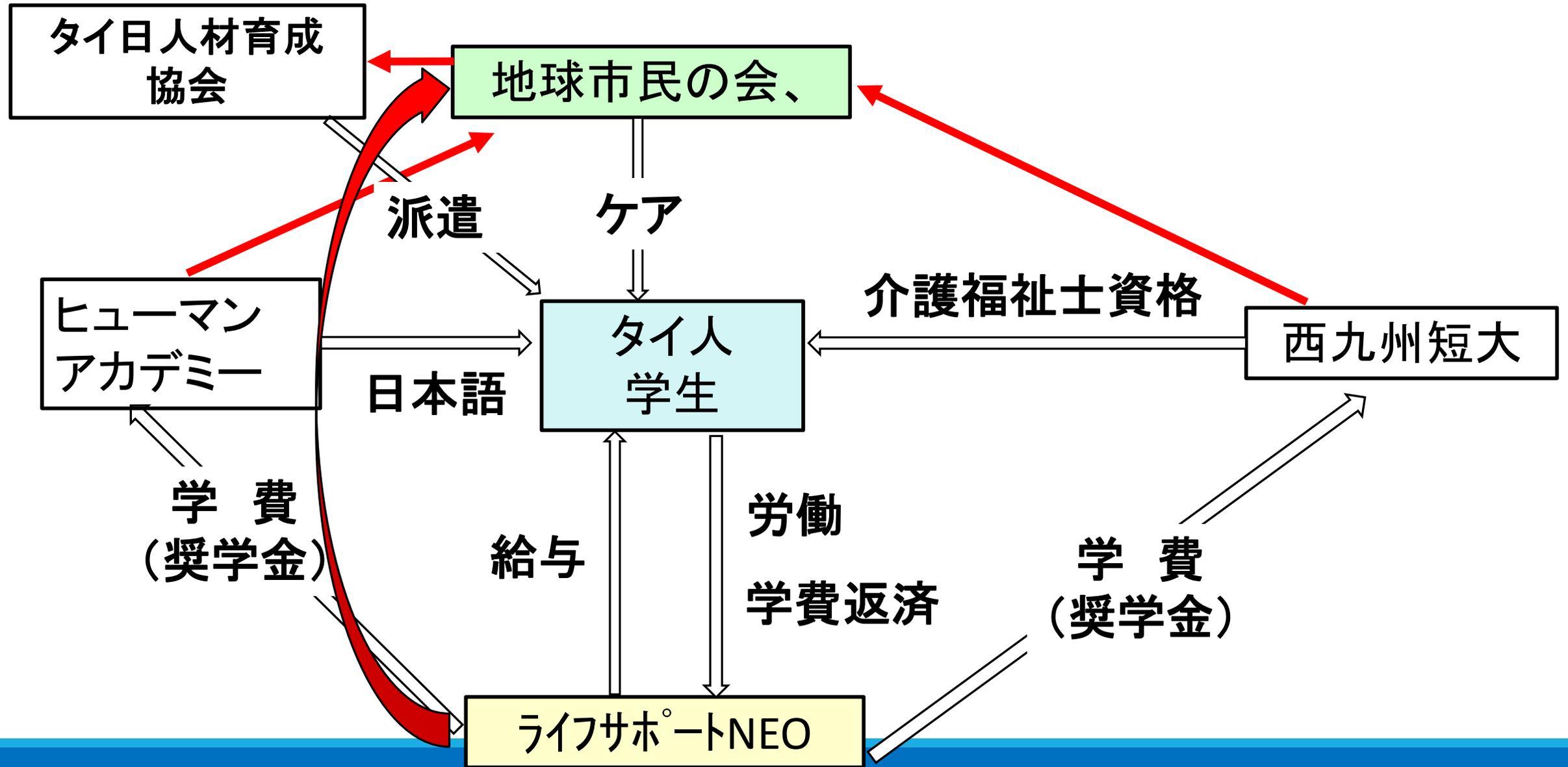
企業とNGOによるCSVプロジェクト

株式会社 ライフサポートNEO

×

認定NPO法人 地球市民の会

地球市民の会志学生プロジェクトチャート図



志学生プロジェクト

株式会社ライフサポートNEO

- 人材確保
- 将来の新たなビジネスマーケット(タイの高齢化)への準備

地球市民の会

- タイの貧困の女の子に生きていくための技術を身に付けさせる
- 新しい会員の獲得(会費収入)
- 新しいビジネスの創造 (サブスクリプション・ビジネス)

1 貧困をなくそう



4 質の高い教育をみんなに



17 パートナースhipで目標を達成しよう



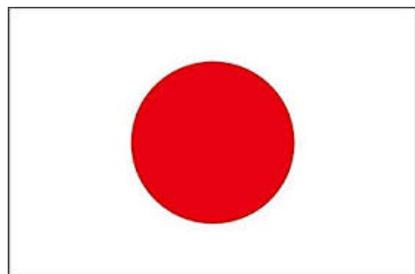


17 パートナーシップで
目標を達成しよう



目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

ターゲット17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。



指標 ① 佐賀の小学生から大学生に対してSDGsについての浸透のため、まずは佐賀龍谷学園との包括協定により年10回のプログラム提供を実施する

SDGsの意識広げる

**授業に導入した
龍谷中高**

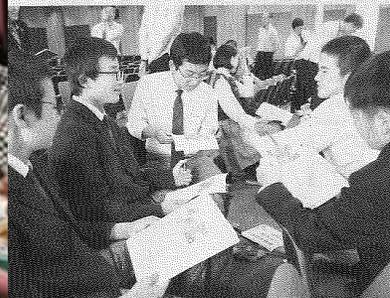
世界の課題、自分へつなげる

「SDGsを学ぶことは、周りの人を幸せにすることを学ぶこと。講師の言葉に、生徒たちの目が輝いた。」

佐賀市の龍谷中学、高校は、今年から認定NPO法人地球市民の会と連携して、SDGsへ理解を深める学習を取り入れている。先に行われた中学3年生への初めての授

業では、同会の大野博之副理事長が講師を務めた。SDGsの概念と目指す17のゴールを解説し、生徒自身が興味のある目標を選び出すワークシヨップで、それぞれの目標と自分たちの生活との関わりについて学んだ。

ワークシヨップは17の目標の中から、興味があるものや解決が重要だと思



▲グループで17の目標からつを選び意見を発表した。佐賀市の龍谷中高。17目標への考えをグループ内でまとめる生徒たち。

う目標をグループごとに話し合った。目標13の「気候変動への対策」を取り上げたグループは、気温上昇で生息数を減らす野生動物へ「動物たちを追い詰めているのが人間なら、助けるのも自分たち」と世界的な視線で意見を発表。目標14「海の豊かさを守る」へは「汚い水に住む魚を食べたくない」と世界的な課題解決の複雑



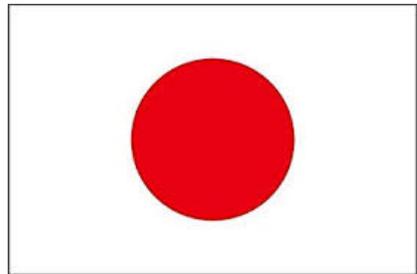
17

パートナーシップで
目標を達成しよう



目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

ターゲット 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。



指標 ② 佐賀における官民学CSOの各プレイヤーによる『佐賀県SDGs官民連携円卓フォーラム』を構築し、セミナー・イベントを年6回開催する

SDGs 官民連携で



ワークショップでSDGsなどを話し合う参加者—佐賀市白山の佐賀商工ビル

佐賀円卓フォーラム設立

「佐賀SDGs官民連携円卓フォーラム」の設立記念イベントが18日、佐賀市で開かれた。企業や行政、CSO（市民社会組織）な

どの関係者ら約80人が参加。環境保全など国連の持続可能な開発目標（SDGs）、エスディーズ）の取り組みを佐賀県内でも広

掲載日：2019年10月19日（土曜日），



げていくことを確認した。フォーラムの座長を務める黒岩春地県国際交流協会理事長は「SDGsは奇跡に近い改革であり、先進国と発展途上国が同じ目標や共通言語を持ったのは素晴らしい。互いに連携しながら一歩ずつ前に進めていければ」とあいさつした。

講演で日本総合研究所（大阪市）の渡辺珠子さんはSDGsと企業や自治体の関わりを解説した。海外の気候変動が日本企業の収益に影響を及ぼす事例を挙げ、「今後の経営を考える際にSDGsの視点が必要になる」と強調した。教育分野でも新学習指導要領にSDGsの観点が取り入れ

られている状況を示し、「SDGsの取り組みはこれからの若い人材の確保にもつながる」と述べた。

フォーラムでは今後、関係機関や団体などの連携を進め、情報交換や勉強会、セミナーなどを行う。認定NPO法人地球市民の会（佐賀市）が事務局となる。（山本礼史）
（後日、オピニオン面で詳細します）

佐賀SDGs官民連携円卓フォーラム



入会募集

入会金 年会費 なし

この度、佐賀県内でのSDGs（持続可能な開発目標：2015年国連で採択された、あらゆる国と企業、そして人類が感覚することを合意された、2030年までに達成する世界全体の目標）の普及と実践を目標とした佐賀SDGs官民連携円卓フォーラムが令和元年10月18日に設立されました。

このフォーラムは特に、企業×行政×市民によって課題解決型事業を県内に押し進めるため、情報交換、事業立案、SDGsビジネス化などのシーズを育てることを目的としています。企業、自治体、CSO、個人にかかわらず、多くの参加を期待しています。

理事

主な事業

います。

理事

(座長	黒岩春地	佐賀県国際交流協会理事長
副座長	五十嵐勉	佐賀大学教授
副座長	辻村圭介	佐賀新聞社報道部長
幹事長	大野博之	佐賀NGOネットワーク代表世話人
幹事	種村昌也	佐賀県庁政策課課長
幹事	八谷浩司	商工会議所事務局長
幹事	藤瀬広樹	グリーンコープ生協さが専務理事
幹事	草場義樹	連合佐賀 事務局長
幹事	山田健一郎	佐賀未来創造基金 理事長
事務局長	岩永清邦	認定NPO法人地球市民の会事務局長

会員のメリット

- SDG sに関する情報の提供があります。
- セミナー、イベントへの参加が優先されます
- 会員間のビジネスミーティングに参加できます
- 助成金や委託金を獲得する際の協働体制の組成をお手伝いします

主な事業

- (1)SDG sに関する官民の連携
- (2)SDG sに関する情報交換・勉強会
- (3)SDG sに関するセミナー・シンポジウムの開催
- (4)SDG sに関する協働のマッチング
- (5)国内・世界のSDG sに関連する諸組織との連携
- (6)その他、SDG sに関連する事業



Japan.
Committed
to SDGs

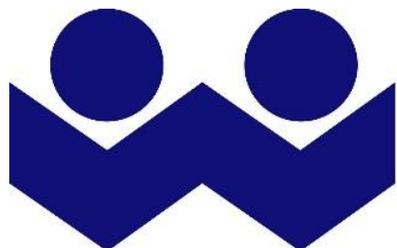
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年までに
世界を達成した
「持続可能な開発目標」です

お申し込みはコチラから！



SDGsの何から始めていいかわからない企業



TERRA PEOPLE ASSOCIATION

SDGs基礎セミナー



SDGs基礎セミナー

セミナーを受けたい企業様を募集します

SDGsを中小企業が取り組む必要がある理由

SDGsとは何か、なぜこれほどまでにSDGsが広がってきているのかという説明に加え、中小企業において自社の事業活動においてSDGsを取り入れることのメリットなどを、最新情報と事例を元にお話しいたします。

【セミナーの目的】

SDGsに対する対応の遅れは中小企業の企業価値低下・競争力喪失のリスクがあるため、やがては市場から淘汰されることにつながるとも考えられています。そのためには早急な対応が必要です。中小企業がSDGsを活用した取組の必要性に気づき、独自の取組を進めることで、持続可能な経営を行う企業が増えるよう、SDGsの普及啓発を行うことを目的とします。



【主な内容】

- 1：SDGsの概要と背景
- 2：SDGs達成への国内の取り組み
- 3：開発途上国におけるSDGs取り組み
- 4：ビジネス戦略の中での位置づけ

【こういう方にオススメ】

- 1：会社経営者ならび経営企画、経営戦略部の方
- 2：SDGsについて全体像を把握したい
- 3：我が国のSDGsの方向性を知りたい
- 4：SDGsに取り組むメリットや効果を知りたい
- 5：SDGsはわが社とはどういう関係があるのか
- 6：SDGsでビジネスチャンスを広がるらしいが、事例を知りたい

【講師】

国連広報センター（UNIC）に事務局をおく、SDGsの達成に向けて活動する、国内主要企業の経営トップ主導型ネットワークであるグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ)の佐賀県で唯一の加盟組織である「認定NPO法人 地球市民の会」の講師が行います。

【参加費】 無料

【定員】

【日時】

【場所】

【主催】

【協力】

佐賀SDGs官民連携円卓フォーラム（事務局：認定NPO法人 地球市民の会内）

SDGsを経営に取り込みたい企業



SDGs経営戦略 支援プログラム

企業導入編（プランの紹介）

セッション①

社内でSDGsの理解を定着させる講義とワークショップ（半日研修3時間）

対象：社員全員

目的：社員がSDGsの企業戦略としての重要性を理解し、会社帰属意識を高めること

【プログラム】

- ①SDGsの概要と背景
- ②なぜ、SDGsを中小企業が取り組まなければならないか
- ③SDGsの理解を深めるワークショップ

セッション②

SDGs社内行動憲章作成ワークショップ（1日半研修10時間）

対象：社員の中から募ったメンバーによるタスクフォース

目的：企業経営の根底である経営理念などをベースに企業オリジナルのSDGs行動憲章を作成し、経営層並びに全社員にプレゼンテーションすること

【プログラム】

- ①現行の企業理念・企業行動規範の再理解
- ②SDGsと現行の企業理念・企業行動規範を見直す
- ③自社の現行の企業理念・企業行動規範とSDGsを統合する
- ④経営層にプレゼンテーションをする
- ⑤全社員に発表する

セッション③

SDGsアクションプランの作成ワークショップ（2日間研修14時間）

対象：社員の中から募ったメンバーによるタスクフォース

目的：SDGs行動憲章を実施するためのアクションプランを作成し、企業価値向上・競争力強化に関する活動を全社的に取り組むこと

【プログラム】

- ①現行の企業理念・企業行動規範の再理解
- ②SDGsと現行の企業理念・企業行動規範を見直す
- ③自社の現行の企業理念・企業行動規範とSDGsを統合する
- ④経営層に発表する

※オプションで、当会の活動地であるミャンマー等へのSDGs視察も予定。（別途、参加費）



**いまを生きる私たちには
次世代に
SDGsの成果を残す
責任がある**